

シニア川柳入選作品発表

「生き生きと活動するシニアに関すること」をお題に「シニア川柳」を募集したところ、126名から338句のご応募をいただきました。応募作品の中から、自身に思うこと、家族に捧げる一言など、笑いあり、涙ありの入選計18作品をご紹介します。

表彰区分	作品名	氏名	年齢
大賞	忘れてもいいよ私はあなたの子	江口 桂子	75
優秀賞	マラリアとコロナ生きぬき初やしやご	恒石 節子	76
優秀賞	亡夫(おとう)さん八十二歳になりました	上村 典子	82
審査員特別	百までは生きる覚悟で磨く床	近森 加代	76
審査員特別	懸命に生きた証(あかし)に杖をつく	西原 時子	76
審査員特別	きこえない同志のはなしながくなり	富澤 憲一	91
審査員特別	スマホへも初心者マーク貼りました	尾崎 美千子	74
審査員特別	高木の上の庭師は傘寿なり	三木 幸美	59
佳作	過去のこと全て赦すわ生きていて	松岡 陽一	80
佳作	カードうら暗証番号書いてある	中谷 潔一	77
佳作	繰り言(くりごと)を「またか」と言わず聞いてやり	田中 喜美子	93
佳作	白寿超えまだ探してる流行り服	仙頭 つや子	94
佳作	孫5才もう越されちゅうスマホカ	田内 満子	79
佳作	女学生生きて令和のおばあさん	小林 加代	90
佳作	年金の元を取るまで生きてやる	大八木 博	73
佳作	ふる里のトンボはみんな器量よし	橋田 綾子	80
佳作	ドクターの笑顔見に行くシニアです	森田 三知	69
佳作	八十年選び損ねたことばかり	中田 順子	85

★過去の大賞・優秀賞作品の紹介★

第7回 大賞：少年兵生きながらえて令和かな

優秀賞：手鏡にかすかに映る母の顔 / 亡き妻の様子を見たい日帰りで

第6回 大賞：遺影用笑いすぎだと叱られる

優秀賞：ネクタイを緩め本音を聞いてやる / まだともう九十歳の峠みち

第5回 大賞：いちにっさん命の延びる音がする

優秀賞：道徳をおまえが言うな文科省 / 幻滅の鏡の前で紅を引く